



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社メンタルヘルステクノロジーズ 上場取引所 東
コード番号 9218 URL <https://mh-tec.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 刀禰 真之介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部部長 (氏名) 樋口 晴将 TEL 03(6277)6595
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	4,677	27.3	435	—	403	—	249	—
2024年12月期第3四半期	3,674	89.9	△8	—	△69	—	△163	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 249百万円(—%) 2024年12月期第3四半期 △163百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	24.08	23.61
2024年12月期第3四半期	△16.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	5,151	1,552	26.3
2024年12月期	4,625	1,294	23.7

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 1,355百万円 2024年12月期 1,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,454	25.7	584	432.3	538	—	359	—	34.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2025年9月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期 3Q	10,391,300株	2024年12月期	10,329,300株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3Q	64株	2024年12月期	64株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期 3Q	10,370,540株	2024年12月期 3Q	10,139,163株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法)

当社の決算補足説明資料につきましては、2025年11月14日(金)にTDnet及び当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第3四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、トランプ米大統領による高関税政策に不確定要因が残るものの、猛暑によって家電製品や日用品等への特需が生じたことや、好調な建設需要やデジタル投資の拡大により、景況感はやや改善しております。また、引き続き人材獲得のため企業における人的資本への関心は高まっており、産業保健事業の事業環境は好転してきております。

こうした状況の中、当社グループでは、2024年12月期に策定した、2027年12月期において連結売上高100億円、営業利益20-25億円を達成目標とする「中期経営計画MHT100/20-25」の実現に向けた施策を取って参りました。

当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度に連結子会社化した株式会社タスクフォースと株式会社みらい産業医事務所の当社グループ内における連携を強めて参りました。また、産業保健事業のKPIでもある産業保健クラウドの契約者数及び契約単価向上に注力いたしました。

また、前連結会計年度は株式会社タスクフォース買収関連の経費及びのれんの償却費、及び2022年5月に付与した第11回新株予約権の株式報酬費用を計上したため赤字となりましたが、当第3四半期連結累計期間においては本来のストック型収益構造に回帰し、黒字化いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,677,855千円(前年同期比27.3%増)、営業利益435,395千円(前年同期は営業損失8,841千円)、経常利益403,824千円(前年同期は経常損失69,389千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は249,689千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失163,680千円)となりました。

セグメント毎の経営成績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より当社グループ内の経営管理区分の見直しに伴い、従来「メディカルキャリア支援事業」、「デジタルマーケティング事業」としていた報告セグメントを「その他」に統合しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の報告区分に組み替えた数値で比較分析しております。

a. メンタルヘルスソリューション事業

メンタルヘルスソリューション事業では、産業医及び保健師等による役務提供サービスと労働者の心身の健康管理に関する各種クラウド型サービス「ELPIS」をパッケージ化し、「産業医クラウド」の名称で提供しております。

当第3四半期連結累計期間におけるメンタルヘルスソリューション事業においては、新規顧客獲得のため、顧客サービス体制の強化、大手企業向けコンサルティング提案営業の推進などを引き続き行ってまいりました。また、既存顧客へのサービス追加による増額提案活動も実施しております。さらに、グループ内の株式会社Avenirと株式会社明照会労働衛生コンサルタント事務所との営業活動、新規事業開発等の相乗効果が出てきております。株式会社ヘルスケアDXのメンタルクリニック運営支援サービスについては、業務運用が軌道に乗り始め、支援先を拡大しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高2,232,805千円(前年同期比19.2%増)、セグメント利益651,453千円(前年同期比34.8%増)となりました。

b. メディカルワークシフト事業

2024年2月29日付で株式会社タスクフォースを完全子会社としたことに伴い、2024年3月より同社の看護補助者及び医療事務人材サービスを「メディカルワークシフト事業」として新たにセグメントを設定いたしました。

当第3四半期連結累計期間におけるメディカルワークシフト事業においては、当社グループに参加したことに伴う企業運営方法の統合が進み、デジタル化やスタッフのレベルアップ研修等の新たな施策に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高2,350,866千円、セグメント利益は195,612千円となりました。

なお、当事業を開始したのは2024年3月1日であり、前期比較が困難なため、前年同期比較は記載しておりません。

c. その他事業

第1四半期連結会計期間より当社グループ内の経営管理区分の見直しに伴い、従来「メディカルキャリア支援事業」、「デジタルマーケティング事業」としていた報告セグメントを「その他」に統合いたしました。

その他事業において、メディカルキャリア支援事業では、医師転職市場の環境変化により規模の拡大が見込みにくい中、産業保健事業との連携に力を入れました。また、デジタルマーケティング事業では前連結会計年度に引き続き、受注制作に関して既存顧客の保守案件を安定的に受注する一方、グループ企業向けのマーケティングに事業部内のリソースを集中して参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高94,184千円（前年同期比29.4%減）、セグメント利益は4,320千円（前年同期比88.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ526,049千円増加し、5,151,698千円となりました。主な増加要因は、金融機関から運転資金を調達したことにより現金及び預金が238,448千円増加の1,354,986千円になったこと、事業拡大により売掛金が前連結会計年度末と比較して140,332千円増加の781,181千円となったこと、及び株式会社ヘルスケアDXの支援先拡大に伴い開設資金等に対する長期貸付金が86,511千円増加し116,529千円になったことによるものです。また減少要因としてはのれん及び顧客関連資産が償却によりそれぞれ72,836千円、29,272千円減少し、1,783,093千円、639,229千円となったことが挙げられます。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ268,061千円増加し、3,598,753千円となりました。主な増加要因は、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金がそれぞれ115,584千円、41,892千円増加し、487,012千円、2,239,277千円となったこと、未払法人税等が62,174千円増加し、92,593千円になったこと、及び未払消費税等が52,290千円増加の115,470千円になったことによるものです。一方主な減少要因は、預り金が13,975千円減少し11,552千円となったことです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ257,987千円増加し、1,552,944千円となりました。これは主に、利益剰余金が249,689千円増加し、263,342千円となったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年2月14日に公表した2025年12月期の通期連結業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日同時に開示しております「2025年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,116,537	1,354,986
売掛金	640,848	781,181
仕掛品	—	157
貯蔵品	3,780	3,818
未収入金	5,912	2,397
未収還付法人税等	13,297	—
前払費用	26,533	50,706
その他	6,115	16,850
貸倒引当金	△4,049	△4,273
流動資産合計	1,808,977	2,205,824
固定資産		
有形固定資産		
建物	70,286	135,757
減価償却累計額	△9,614	△14,094
建物（純額）	60,671	121,662
工具、器具及び備品	26,437	28,792
減価償却累計額	△16,701	△16,802
工具、器具及び備品（純額）	9,736	11,990
有形固定資産合計	70,408	133,652
無形固定資産		
のれん	1,855,930	1,783,093
顧客関連資産	668,502	639,229
ソフトウェア	79,476	73,212
ソフトウェア仮勘定	21,368	51,431
無形固定資産合計	2,625,276	2,546,966
投資その他の資産		
投資有価証券	10,026	58,026
出資金	131	131
長期前払費用	3,433	10,819
長期貸付金	30,017	116,529
差入保証金	38,725	62,669
繰延税金資産	38,653	17,077
投資その他の資産合計	120,987	265,254
固定資産合計	2,816,671	2,945,873
資産合計	4,625,649	5,151,698

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,594	138,613
1年内返済予定の長期借入金	371,428	487,012
未払金	342,300	334,767
未払法人税等	30,418	92,593
未払消費税等	63,179	115,470
契約負債	11,683	16,222
預り金	25,528	11,552
返金負債	140	215
賞与引当金	600	300
ポイント引当金	—	1,440
流動負債合計	975,873	1,198,186
固定負債		
長期借入金	2,197,385	2,239,277
繰延税金負債	157,434	161,290
固定負債合計	2,354,819	2,400,567
負債合計	3,330,692	3,598,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,919	550,569
資本剰余金	536,999	541,649
利益剰余金	13,652	263,342
自己株式	△78	△78
株主資本合計	1,096,493	1,355,483
新株予約権	198,463	197,461
純資産合計	1,294,956	1,552,944
負債純資産合計	4,625,649	5,151,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,674,919	4,677,855
売上原価	2,317,531	3,096,629
売上総利益	1,357,387	1,581,226
販売費及び一般管理費	1,366,228	1,145,830
営業利益又は営業損失(△)	△8,841	435,395
営業外収益		
受取利息	97	2,922
受取配当金	2	2
雑収入	385	236
営業外収益合計	484	3,161
営業外費用		
支払利息	22,090	31,049
新株予約権発行費	2,038	—
支払手数料	22,400	—
寄付金	10,000	—
雑損失	4,504	3,682
営業外費用合計	61,033	34,732
経常利益又は経常損失(△)	△69,389	403,824
特別利益		
新株予約権戻入益	447	1,002
特別利益合計	447	1,002
特別損失		
固定資産売却損	170	—
固定資産除却損	1,668	530
リース解約損	904	—
特別損失合計	2,743	530
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△71,686	404,296
法人税、住民税及び事業税	59,399	129,176
法人税等調整額	32,594	25,430
法人税等合計	91,994	154,606
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△163,680	249,689
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△163,680	249,689

(四半期連結包括利益計算書)
(第3 四半期連結累計期間)

	(単位：千円)	
	前第3 四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△163,680	249,689
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△163,680	249,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△163,680	249,689
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1 四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3 項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65－2 項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1 四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3 四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前第3 四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3 四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3 四半期連結累計期間 (自 2024年1 月1 日 至 2024年9 月30 日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 2025年1 月1 日 至 2025年9 月30 日)
減価償却費	28,796千円	32,244千円
のれんの償却額	54,393	72,836

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メンタルヘル スソリューション事業	メディカル ワークシフト 事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	1,873,542	1,667,970	133,405	3,674,919	—	3,674,919
外部顧客への売上高	1,873,542	1,667,970	133,405	3,674,919	—	3,674,919
セグメント間の内部 売上高又は振替高	600	—	39,856	40,456	△40,456	—
計	1,874,142	1,667,970	173,262	3,715,376	△40,456	3,674,919
セグメント利益	483,120	188,192	36,931	708,243	△717,085	△8,841

(注) 1. セグメント利益の調整額717,085千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結累計期間において、株式会社タスクフォースの全株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。これにより「メディカルワークシフト事業」において、のれんが1,624,608千円発生しております。

なお、のれんの金額は前連結会計年度において取得原価の配分が完了したため、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メンタルヘル スソリューション事業	メディカル ワークシフト 事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	2,232,805	2,350,866	94,184	4,677,855	—	4,677,855
外部顧客への売上高	2,232,805	2,350,866	94,184	4,677,855	—	4,677,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,050	—	41,341	42,391	△42,391	—
計	2,233,855	2,350,866	135,525	4,720,247	△42,391	4,677,855
セグメント利益	651,453	195,612	4,320	851,386	△415,990	435,395

(注) 1. セグメント利益の調整額415,990千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より当社グループ内の経営管理区分の見直しに伴い、従来「メディカルキャリア支援事業」、「デジタルマーケティング事業」としていた報告セグメントを「その他」に統合しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。